

長野県社会福祉審議会児童福祉専門分科会

推薦映画一覧 (令和7年11月以降公開予定)

番号	映画名等	内容・推薦理由
①	 <p>(C)武田一義・白泉社／2025「ペリリュー 楽園のゲルニカ」製作委員会</p>	<p>ペリリュー —楽園のゲルニカ—</p> <p>種別 アニメ 時間 111分 (予定) 対象 高校生 厚生労働省 タイアップ作品</p> <p>日本漫画家協会賞を受賞した戦争漫画。今なお戦死した日本兵の多くの遺骨が残されたままのパラオ南西部ペリリュー島。太平洋戦争末期、物資も兵力も無いなか本土を守るために持久戦を命じられ、終戦を知らされないまま2年半も戦い続けた兵士たちがいた。亡くなった兵士の最後の姿を書き記す「功績係」の田丸は無残な死を美化することに悩みながら、同期の吉敷と支えあい生き延びてゆく。激しい砲撃に次々と倒れる兵士たち。愛する家族の元に帰るため懸命に生きようとする若き兵士の姿を通して、戦争の理不尽さ、残酷さが描かれる。</p> <p>終戦後80年。命と平和の尊さを語り継いでいく大切さが伝わるアニメーション映画。</p>
②	 <p>(C)J2025 Disney Enterprises, Inc.</p>	<p>ズートピア2</p> <p>種別 アニメ 時間 107分 (予定) 対象 小学生低学年・家庭</p> <p>動物たちが人間のように暮らす楽園での出来事を描き、大人気となった「ズートピア」の続編。誰でも夢をかなえられる街ズートピアで、ウサギで初めて警察官になるという夢をかなえたジュディと警察学校を無事卒業し警察官になったキツネで元詐欺師のニック。バディを組むことになった二人の前に、ズートピアには、いるはずのないヘビ・ゲイラーが突如現れ、ズートピアの過去に秘められた謎に挑むことになる。</p> <p>「命をかける必要はない」「誰かがやらないと変わらない」の言葉から不条理な世界を誰もが幸せに暮らせる世界に変えるため、仲間に自分の気持ちを伝え、協力しあう大切さがわかるアニメーション映画。</p>
③	 <p>(C) 2025 スタジオ地図</p>	<p>果てしなきスカーレット</p> <p>種別 アニメ 時間 111分 対象 高校生</p> <p>16世紀末のデンマーク。王女スカーレットは父王を叔父クローディアスに殺され復讐を誓うが、彼女も暗殺されてしまう。復讐にとらわれ「死者の国」をさまよう王女が、現代日本からきた青年と出会い、戦うことから許すこと、愛することを知り変化していく姿を描き、「生きるとは何か」を問いかける。</p> <p>戯曲『ハムレット』を彷彿させる復讐劇を描くことで、現代の中東情勢など報復の連鎖を断ち切れない世界を告発する。</p> <p>「今 生きるものが未来の平和を作るので」と言うことばに、細田守監督の凝縮されたメッセージが込められた長編アニメーション映画。</p>

④	 <p>(C) 2025 深緑野分/KADOKAWA/ 「この本を盗む者は」製作委員会</p>	<p>この本を盗む者は</p> <p>種別 アニメ 時間 未定 対象 小学生高学年</p>	<p>本屋大賞にノミネートされたファンタジー冒険小説の映画化。御倉家が代々管理する巨大な書庫には誰も入れず「御倉の呪い」と呼ばれる奇妙な伝説があった。ある日、本が盗まれ町全体が本の世界に閉じ込められてしまう。本嫌いの高校一年生、御倉深冬は本泥棒を捕まえるため、不思議な少女、真白と本の世界に飛び込んで行く。呪いを解くには本を読むこと。ファンタジーやSF、ハードボイルドなどさまざまなジャンルの本の世界を体験する展開が面白い。本嫌いで他人に無関心だった少女が冒険を通して成長していく。読書の楽しさや想像力を育むアニメーション映画。</p>
---	---	---	--